

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公開番号】特開2007-52405(P2007-52405A)  
 【公開日】平成19年3月1日(2007.3.1)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-008  
 【出願番号】特願2006-195425(P2006-195425)  
 【国際特許分類】

G 0 3 F 7/42 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/42

H 0 1 L 21/30 5 7 2 B

H 0 1 L 21/304 6 4 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月6日(2009.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顔料を含有する感光性組成物の除去液であって、  
 (1) 脂環式ケトン類を99～30質量%および  
 (2) アルキレングリコールモノアルキルエーテル類およびアルコール類から選ばれる少なくとも1種の化合物を1～70質量%  
 含有することを特徴とする感光性組成物除去液。

【請求項2】

顔料を含有する感光性組成物の除去液であって、  
 (1) 脂環式ケトン類を80～30質量%、  
 (2) アルキレングリコールモノアルキルエーテル類およびアルコール類から選ばれる少なくとも1種の化合物を60～10質量%および  
 (3) 酢酸エステル類を40～10質量%  
 含有することを特徴とする感光性組成物除去液。

【請求項3】

脂環式ケトン類が、シクロヘキサノン、シクロペンタノンおよびメチルシクロヘキサノンからなる群から選ばれる少なくとも1種である請求項1または2に記載の感光性組成物除去液。

【請求項4】

アルキレングリコールモノアルキルエーテル類が、エチレングリコールモノメチルエーテル、エチレングリコールモノエチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、プロピレングリコールモノメチルエーテル、プロピレングリコールモノエチルエーテル、ジプロピレングリコールモノメチルエーテル、3-メトキシブタノールおよび3-メチル-3-メトキシブタノールからなる群から少なくとも1種であり、アルコール類が、1-プロパノール、2-プロパノール、1-ブタノール、2-ブタノールおよびt-ブタノールからなる群から選ばれる少なくとも1

種である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の感光性組成物除去液。

【請求項 5】

酢酸エステル類が、酢酸エチル、酢酸 n - プロピル、酢酸イソプロピル、酢酸 n - ブチル、酢酸 n - アミル、酢酸イソアミルおよび酢酸 s e c - アミルからなる群から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 2 ~ 4 のいずれかに記載の感光性組成物除去液。

【請求項 6】

顔料を含有するアクリル系感光性組成物の除去に用いられる請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の感光性組成物除去液。

【請求項 7】

感光前の顔料を含有する感光性組成物の除去に用いられる請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の感光性組成物除去液。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の感光性組成物除去液を用いて顔料を含有する感光性組成物を除去する工程を有する感光性組成物塗布装置の洗浄方法。